

地域の達人 紹介します!

高浜市では、生涯学習基本構想のもと、学びを通じた人づくり・地域づくりを進めています。「地域の達人」と称して、地域で活動をしているいろいろなジャンルの達人の活躍する姿をより多くの方に知ってもらい、生涯学習のネットワークを広げていくため、毎月15日号で紹介しています。



☆地域の達人とは…高浜市に在住、在勤、在学している方で、いろいろな特技や専門分野を持った方。

「書道の達人」 加藤 一次さん(稗田町在住)

◆書道に興味を持つきっかけは何でしょうか?

当時の子どもとしては普通だったと思いますが、小学1年から6年まで書道とそろばんを習っていました。中学生になってからはやめていたのですが、高校生の時に戸田提山先生(※1)から書を学ぶ時間があり、その時に「書はすばらしい」と思ったものの、縁がないままでしたが、たまたま自分の子どもが井野吟紅先生(※2)に習い始めたことをきっかけに35歳で入門。以後、仕事をしながら30年間続けています。

※1 安城市出身の西三河を代表する現代書家(1917~2004年)
※2 高浜市在住の戸田提山先生の愛弟子



▲加藤一次さん

◆書道の魅力は何でしょうか?

一本の線に書き手の個性が出るといいますか、人の心に訴える表現が表れるところでしょうか。一つの文字を書くとして、同じ人でもその時の心理状態によっても異なりますので、温かい印象の字であったり、冷たい印象の字であったりと、多種多様な表現が表れてくることですね。また、展覧会に出す作品を制作する時には、一回書いてよしというのではなく、同じ文字を何十枚、何百枚と書いていくのですが、試行錯誤を繰り返すうち自分が求めているものがしだいに見えてきます。

◆公民館でも書道を教えたことがあると聞きましたが

「生涯現役のまちづくり」の取り組みの関係で声がかかり、南部公民館で一度教えたことがあります。年配の方が対象でしたが、皆さんに楽しんでいただけたようです。

◆加藤さんにとって、書道はどういう存在でしょうか?

35歳から30年間、仕事をしながら時間をみつけて続けてきたわけですが、少しずつの時間であっても自分を成長させる大事な存在です。また、友人から声をかけられて8年ほど前から自宅で書道教室を始めましたが、ただ、書の練習だけでなく、合間の休憩時間の交流も同好の仲間との大切な時間として楽しんでいます。



▲南部公民館での書道教室



▲中学生海外派遣事業
文化交流寄贈作品

南部公民館での書道教室は7月から定期開催しています。詳細は市役所福祉企画グループまで ☎52-9873

生涯学習の取り組み一覧を紹介しています

市では、生涯学習の取り組みの一覧を、高浜市のウェブサイトで公開しています。市の事業や市民活動、ボランティア活動などの情報を共有することで、人と人、人と活動をつなぎ、市民活動の活性化を図りたいと考えています。皆さん、ぜひご覧ください。

ホームページアドレス <http://www.city.takahama.lg.jp/grpbetu/bunka/>
問合せ先 文化スポーツグループ ☎52-1111(内線331)

